

臨床化学分析用管理血清

セロノルム・ヒューマン Seronorm Human

Batch No. 2111908 2022年7月作成

有効期限：2026年2月

セロノルム・ヒューマンはノルウェー赤十字より提供される健常人の血液から調製された管理血清です。

—— 特 長 ——

1. 生化学分析、免疫蛋白分析、蛋白電気泳動分析、ホルモン分析、微量金属分析等の管理血清として最適です。
2. 容易に溶解し、澄明で濁りがなく、また粘性は血清と類似しています。

—— 使用法 ——

1. ホールピペットを用い、正確に精製水(10℃以下)5mLを加え、泡立てないように混和して溶解します。
2. 溶解後は検体と同様に扱います。

—— 安定性 ——

溶解後は、各成分とも2～8℃で1週間、-20℃で1ヵ月間安定です。

*ASTは添加成分の影響により、経時的に高値化するため「24時間以内」に凍結保存してください。

*T-BIL、D-BILは光の影響等を受け、測定値が不安定なため、30分以内に凍結保存してください。

—— 保 存 ——

2～8℃保存

[1] マルチキャリブレーターとしての濃度設定

下記項目のキャリブレーターとしてご使用の際は、下記に示す濃度を設定してください。

項 目	試 薬	設定値	不確かさ	準拠物質(方法)
A L B	クリニメイトALB(BCG法) オートセラALB(BCG法)	4.11 g/dL	±0.10 g/dL	IRMM ERM-DA470k/IFCC
	ピュアオートS ALB-N(BCP改良法) クオリジェントALB-N(BCP改良法)	3.92 g/dL	±0.14 g/dL	
	クリニメイトTP オートセラTP クオリジェントTP	6.46 g/dL	±0.07 g/dL	
T P	ピュアオートS TP クオリジェントTP-N	6.34 g/dL	±0.07 g/dL	NIST SRM927d
	クリニメイトCA(OCPC法) オートセラCA(OCPC法) クオリジェントCA(OCPC法)	8.61 mg/dL	±0.05 mg/dL	NIST SRM915b
C A	アキュラスオートCa II(酵素法)	8.68 mg/dL	±0.10 mg/dL	JCCRM321-8
	ピュアオートS UA クオリジェントUA オートセラS UA	4.98 mg/dL	±0.03 mg/dL	NIST SRM913a
U A	ピュアオートS UN-N	13.4 mg/dL	±0.24 mg/dL	NIST SRM912a

包含係数 K=2

[2] 酵素の活性調製には、下記由来のものを使用しています。

A L P	: ヒト胎盤	γ - G	T : ブタ腎臓
A M Y	: ヒト唾液、ブタ膵臓	H B D	H : ヒト胎盤
C K	: サル心臓	L	D : ヒト胎盤、ウシ肝臓
A S T, A L T	: ブタ心臓		

[取扱い上の注意]

本品は、HBs抗原陰性、HIV抗体陰性、HCV抗体陰性を確認した血清から調製されておりますが、ご使用の際は感染の危険のあるものとして、検体と同様に十分ご注意の上お取扱いください。

輸入元 **积水メディカル株式会社**
東京都中央区日本橋二丁目1番3号

製造元 **SERO**

セロノルム・ヒューマン Seronorm Human

Batch No. 2111908 2022年7月作成

有効期限: 2026年2月

コレステスト、クオリジェント、ピュアオート、クリニメイト、オートセラ他による参考表示値

項目名	試薬名	測定法	単位	参考表示値
A S T	ピュアオートS AST-L	JSCC標準化対応法	U/L (37°C)	42 ± 5
A L T	ピュアオートS ALT-L	JSCC標準化対応法	U/L (37°C)	46 ± 6
L D	ピュアオートS LD-IFCC	IFCC標準化対応法	U/L (37°C)	154 ± 20
γ - G T	ピュアオートS γ-GT	JSCC標準化対応法	U/L (37°C)	38 ± 4
A L P	ピュアオートS ALP-IFCC	IFCC標準化対応法	U/L (37°C)	100 ± 15
L A P	ピュアオートS LAP	GSOC勧告法準拠(実測K値)	U/L (37°C)	45 ± 5
C K	JSCC標準化対応法	JSCC標準化対応法	U/L (37°C)	108 ± 14
CK-MB	シグナスオート CK-MB MtO	免疫阻害法(シグナスオート CK-MB MtO)	U/L (37°C)	26 ± 10
C H E	ピュアオートS CHE	JSCC標準化対応法(p-ヒドロキシベンゾイルコリン基質法)	U/L (37°C)	302 ± 54
A M Y	ピュアオートS AMY-G2	JSCC標準化対応法(Gal-G2-CNP基質法)	U/L (37°C)	121 ± 16
	ピュアオートS AMY-G7	JSCC標準化対応法(Et-G7-pNP基質法)	U/L (37°C)	110 ± 14
P - A M Y	ピュアオートS P-AMY-G2	免疫阻害法・Gal-G2-CNP基質法	U/L (37°C)	74 ± 12
	ピュアオートS P-AMY-G7	免疫阻害法・Et-G7-pNP基質法	U/L (37°C)	58 ± 9
C H O	コレステスト CHO	酵素法	mg/dL	154 ± 12
F - C H O	ピュアオートS F-CHO-N	酵素法	mg/dL	28 ± 3
T G	コレステスト TG	酵素法:遊離グリセロール消去法(JSCC勧告法準拠)	mg/dL	60 ± 6
P L	ピュアオートS PL	酵素法	mg/dL	182 ± 9
N E F A	クリニメイト NEFA	酵素法	μEq/L	627 ± 63
G L U	ピュアオートS GLU-R	ヘキソキナーゼ法(レート法)	mg/dL	79 ± 9
T P	オートセラ TP	ビウレット法(アナセラムALB・TP標準液使用)	g/dL	6.1 ± 0.5
	ピウレット法(AAOC法準拠)	ビウレット法(AAOC法準拠)	g/dL	6.3 ± 0.6
A L B	ピュアオートS ALB-N	BCP改良法(ERM-DA 470k/IFCC準拠)	g/dL	3.9 ± 0.5
	クリニメイト ALB	BOG法(ERM-DA 470k/IFCC準拠) BOG法(アナセラムALB・TP標準液使用)	g/dL	4.0 ± 0.5
B I L	ユニメディ T-BIL	酵素法	mg/dL	0.9 ± 0.2
D - B I L	ユニメディ D-BIL	酵素法	mg/dL	0.1 ± 0.1
U N	ピュアオートS UN-N	酵素法(GLDH法)	mg/dL	13.2 ± 1.5
C R E	酵素法	酵素法	mg/dL	0.9 ± 0.1
U A	オートセラS UA	酵素法	mg/dL	4.9 ± 0.4
C A	オートセラ CA	OCPC法	mg/dL	8.6 ± 0.5
	アキュラスオート Ca II	酵素法	mg/dL	8.6 ± 0.5
F E	ピュアオートS FE	ニトロソ-PSAP発色法	μg/dL	98 ± 15
U I B C	クイックオート ネオ UIBC	ニトロソ-PSAP発色法	μg/dL	238 ± 67
I P	クリニメイト IP-2	フィスケ・サバロー法	mg/dL	3.2 ± 0.3
	ピュアオートS IP	酵素法	mg/dL	3.1 ± 0.3
M G	クリニメイト MG	キシリジルブルー法	mg/dL	2.3 ± 0.3
C R P	ナノピア CRP	ラテックス免疫比濁法	mg/dL	0.7 ± 0.1
I g G	N-アッセイ TIA IgG-SHニットーポー	免疫比濁法	mg/dL	1001 ± 100
I g A	N-アッセイ TIA IgA-SHニットーポー	免疫比濁法	mg/dL	194 ± 23
I g M	N-アッセイ TIA IgM-SHニットーポー	免疫比濁法	mg/dL	89 ± 12
C 3	N-アッセイ TIA C3-SH	免疫比濁法	mg/dL	127 ± 13
C 4	N-アッセイ TIA C4-SH	免疫比濁法	mg/dL	24 ± 2
胆汁酸	アクアオートカイノス TBA	酵素サイクリング法	μmol/L	19 ± 5
プレアルブミン	ピュアオートS プレアルブミン	免疫比濁法	mg/dL	22.5 ± 2.3
Ⅳ型コラーゲン	パナッセイⅣ・C	ラテックス免疫比濁法	ng/mL	127 ± 25
Na			mmol/L	142 ± 4
K	日立用Bタイプ試薬	日立電解質自動分析装置 電極法(希釈法)	mmol/L	3.9 ± 0.2
C l			mmol/L	109 ± 4

測定法は弊社検査薬の基本操作に従っております。

JSCC標準化対応試薬およびIFCC標準化対応試薬は酵素キャリブレータープラスを検量物質に用いて測定しています。

「コレステスト、クオリジェント、ピュアオート、クリニメイト、オートセラ」は積水メディカル株式会社の日本における登録商標です。

その他の商標は各社の日本における商標または登録商標です。

積水メディカル株式会社

東京都中央区日本橋二丁目1番3号